

令和6年度第1回厳美小・中合同学校運営支援協議会 会議録

- 1 会議名 令和6年度第1回厳美小・中合同学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和6年6月6日（木）午後1時35分から午後3時50分まで
- 3 開催場所 厳美中学校 視聴覚室
- 4 出席者
 - (1) 委員 小岩次男委員、佐々木一郎委員、遠藤寛文委員、佐藤武生委員（会長）、佐藤奈保子委員（副会長）、小松原文也委員、阿部美代子委員、五十嵐正一委員、佐藤泰博委員（副会長）、鈴木有希厳美小学校長、青沼徹厳美中学校長
 - (2) 事務局 赤塚知秋厳美小学校副校長、鈴木智行厳美中学校副校長

5 議 題

- (1) 厳美小・中学校の学校経営について（学校の様子、学校運営基本方針、学びフェストについて）
- (2) 学校運営支援協議会いわゆるコミュニティスクールについて
- (3) 会長1名、副会長2名の選任について

6 公開、非公開の別 非公開

7 議事内容

○中学校授業参観（午後1時35分から午後2時25分まで）の感想交流

- ・自分たちが学んだ時代より、リスニング重視の学習である。
- ・英語の授業で使用していたタブレット対応の机が印象的だった。
- ・熱中症対策について、体育館へのビッグファンの導入、網戸の設置、熱中症指数を参考に部活動の可否の決定など説明を行った。

(1) 厳美小・中学校の学校経営について

学校の様子、学校運営基本方針、学びフェストについて、小学校長及び中学校長から説明を行った。

委員（小学校長） 小学校の学習は地域学習とつながりが深い。総合学習、社会科、生活科など今後も学校教育目標具現化のためにご協力を賜りたい。

委員（中学校長） 中学校は、地域ボランティアの一環として「ふるさと隊」を組織、地域行事に積極的に参加する事を奨励している。情報モラル教育の一環として、講演会を企画した。地域部活動への移行について説明した。

(2) 学校運営支援協議会いわゆるコミュニティスクールについて

資料に基づき小学校長から説明を行った。以下、質疑応答。

委員 学校運営支援協議会について、説明はいただいたが具体的に私達（委員）はどのようなことをしていくことが必要か。

委員（小学校長） 厳美小・中学校はおかげ様で、地域からたくさんのご協力をいただいている。小学校では、ゲストティーチャーとしてご協力いただいている。中学校は、休日にボランティアとして生徒を受け入れていただき、見守っていただいている。新しいことを始めるのではなく、今までの活動を継続していく。

委員 今までの継続や継承も大切だが、時代に合わせて変えることも必要ではないか。

委員（小学校長） 同様に考える。まさに、そういった議論の場にこの学校運営支援協議会が機能することが望ましいのではないかと考える。

(3) 会長1名、副会長2名の選任について

互選の結果、会長に佐藤武生委員が、副会長に佐藤奈保子委員、佐藤泰博委員がそれぞれ選任された。

8 担 当 厳美中学校